



# 市議会だより



## 4月臨時会

### 新しい市議会の構成が決まる

議長に繁田議員、副議長に遠藤議員を選出

4月臨時会が4月27日に開会し、同日閉会しました。臨時会では、議長、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、開票の結果、議長に繁田和三議員、副議長に遠藤裕孝議員が選出されました。

常任委員会委員と議会運営委員会委員も新たに選任され、市議会の新しい構成が決まりました(2、3面掲載)。

また、特別委員会委員長による中間報告が行われたほか、議案審議では、26年度一般会計補正予算など4件の市長専決処分が承認され、27年度一般会計補正予算など5件の議案が原案のとおり可決されました。

## 6月定例会

### 3次総の更なる推進に向けた 一般会計補正予算案を可決

6月定例会では、第3次静岡市総合計画の更なる推進に向け、「広域連携と交流人口の拡大」「官民連携による市民サービスの向上」「安心・安全なまちづくり」等に要する経費を計上した27年度一般会計補正予算をはじめ、緊急情報防災ラジオの購入など25件の議案が審議されました。

6月19日、22日、23日には、22名の議員が総括質問を行いました(4～6面掲載)。

7月2日の最終日には、6月25日、26日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され(7面掲載)、表決の結果、すべての市長提出議案が可決されました(8面掲載)。

## 6月定例会日程

6月11日	本会議(開会)	会期決定、議案上程など
6月19日、 22日、23日	本会議 (個人質問)	市政全般について質問
6月25日、 26日	常任委員会	議案審査
7月2日	本会議(閉会)	常任委員会委員長報告、 討論、表決など

## 目次

4月臨時会、6月定例会のあらまし	1面
議員紹介・委員会構成、政務活動費執行状況	2、3面
個人質問	4～6面
主な議案	6面
常任委員長報告など	7面
賛否一覧、次回定例会のお知らせなど	8面

# 議員紹介・委員会構成

◎は委員長 ○は副委員長

(平成27年8月1日現在)

## 常任委員会

議案などを専門的・能率的に審査するための常設の委員会として、常任委員会があります。  
現在、静岡市議会では6つの常任委員会を設置し、議員はいずれかの常任委員会に所属しています。

### 総務委員会(8人)

総務局、企画局、財政局、他の常任委員会の所管に属しない事項



### 市民環境教育委員会(8人)

市民局、区役所、環境局、教育委員会の所管に関する事項



### 厚生委員会(8人)

保健福祉局、子ども未来局の所管に関する事項



### 観光文化経済委員会(8人)

観光交流文化局、経済局、農業委員会の所管に関する事項



### 都市建設委員会(8人)

都市局、建設局の所管に関する事項



### 企業消防委員会(8人)

病院局、上下水道局、消防局の所管に関する事項



## 会派

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(20人)  
新政会(8人)  
公明党=公明党静岡市議会(6人)

共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)  
静翔会(4人)  
維新=日本維新の会静岡市議会議員団(2人)

山と町=「山と町」安全の会(1人)  
緑の党=緑の党 Greens Japan(1人)  
無所属※(1人) ※いずれの会派にも属していないもの

◇宮澤圭輔議員が平成27年5月27日付で静翔会を離脱しました。

特別委員会

特定の事柄について調査・研究などをするため、必要に応じて設置する委員会です。

総合治水及び災害対策  
調査特別委員会

巴川総合治水及び都市型浸水対策を含む総合的な水害対策、市域の海岸保全、並びに震災対策の調査及び整備策に関すること。

- ◎ 栗田知明
- 内田隆典
- 福地健文
- 早川清文
- 宮澤圭輔
- 大石直樹
- 松谷清夫
- 水野敏夫
- 山本明久
- 井上恒彌
- 伊東稔浩

中山間地活性化  
調査特別委員会

中山間地の活性化及び振興策の調査及び整備策に関すること。

- ◎ 栗田裕之
- 山梨之涉
- 平島政二
- 池邨善満
- 工藤公彦
- 望月俊明
- 鈴木節子
- 石上顕太郎
- 安竹信男
- 岩崎良浩
- 鈴木和彦

産業振興策  
調査特別委員会

建設・整備中のものを含む高規格道路・港湾等の沿線・周辺地域における産業振興、及び企業誘致を含む企業育成・雇用の確保に関する調査と整備・推進策に関すること。

- ◎ 風間重樹
- 畑田響
- 池谷大輔
- 寺尾昭治
- 石井孝智
- 井上智仁
- 遠藤広樹
- 丹沢卓久
- 牧田博之
- 望月厚司
- 田形清信

観光・交流事業  
調査特別委員会

高規格道路・港湾・空港利用による誘客策や国内・外会議の誘致策、及び市内観光施設又はこれに類する施設に係る調査及び施策の推進に関すること。

- ◎ 浅場武
- 鈴木直明
- 尾崎剛司
- 西谷博子
- 大村一雄
- 馬居喜代子
- 中山道晴
- 山根田鶴子
- 亀澤敏之
- 三浦雅司
- 白鳥実

議会運営委員会

議会運営を円滑に行うために設置されている委員会です。会議の運営方法や日程等を協議・調整します。

- ◎ 亀澤敏之
- 水野敏夫
- 池邨善博
- 西谷博子
- 井上智仁
- 大村一雄
- 丹沢卓久
- 風間重樹
- 井上恒彌
- 鈴木和彦

平成26年度政務活動費交付金の会派別執行状況

静岡市議会では、政務活動費の適正な運用と使途の透明性を確保するため、各区役所「市政情報コーナー」において、収支報告書及び支払証拠書類等を公開しています。

【市政情報コーナー(各区役所地域総務課内)】

葵区役所 静岡庁舎新館1階  
駿河区役所 3階  
清水区役所 清水庁舎4階



(単位:円)

会派名	自由民主党 静岡市議会議員団	新政会	公明党 静岡市議会	日本共産党 静岡市議会議員団	静翔会	日本維新の会 静岡市議会議員団	「山と町」 安全の会	緑の党 Greens Japan	合計	
収入	交付金	60,000,000	24,000,000	18,000,000	15,000,000	15,000,000	6,000,000	3,000,000	3,000,000	144,000,000
	雑収入	975	345	522	485	517	274	126	79	3,323
	計	60,000,975	24,000,345	18,000,522	15,000,485	15,000,517	6,000,274	3,000,126	3,000,079	144,003,323
支出	1調査研究費	12,346,722	4,725,982	1,488,210	399,016	3,023,506	363,200	529,171	0	22,875,807
	2研修費	1,569,828	538,696	1,233,690	680,740	299,768	115,300	32,000	20,080	4,490,102
	3広報広聴費	14,877,570	4,227,065	1,744,994	1,728,341	3,230,606	23,073	28,792	0	25,860,441
	4要請・陳情活動費	59,380	0	80,000	0	0	0	0	0	139,380
	5会議費	25,000	82	0	0	0	0	0	0	25,082
	6資料作成費	1,439,565	99,923	808,188	17,335	18,798	106,075	1,284,915	25,755	3,800,554
	7資料購入費	738,743	180,696	440,548	699,755	204,611	130,825	149,938	73,470	2,618,586
	8人件費	9,882,479	5,014,511	4,869,417	9,048,175	3,993,041	2,977,018	0	2,705,730	38,490,371
	9事務所・事務費	10,595,579	7,182,809	3,895,367	712,622	3,285,385	1,513,707	975,310	172,880	28,333,659
計	51,534,866	21,969,764	14,560,414	13,285,984	14,055,715	5,229,198	3,000,126	2,997,915	126,633,982	
残余金	8,466,109	2,030,581	3,440,108	1,714,501	944,802	771,076	0	2,164	17,369,341	

議長交際費の執行(支出)状況を公開しています

議長交際費の執行(支出)状況の透明性を高め、議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、前月分の執行状況をまとめて、毎月20日までに、市議会ホームページにて公開しています。

市議会議員の「資産等補充報告書」などを公開しています

「政治倫理の確立のための静岡市議会議員の資産等の公開に関する条例」に基づき、葵区役所(静岡庁舎新館1階)市政情報コーナーにて、「資産等補充報告書」「所得等報告書」「関連会社等報告書」を公開しています。

### 静岡市のココが聞きたい

# 個人質問



平成27年6月19日、22日、23日の3日間、22人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

### 静岡駅への新幹線停車数の増加

**質問** のぞみ号の停車、ひかり号の停車増の本市への効果と課題、それを踏まえての取組を問う。

**答弁** 市民の利便性向上や交流人口の増加、さらには企業立地の増大や移住促進など、新幹線停車数の増は、本市の発展に効果があると考える。

従来から行ってきたJRに対する働きかけなどを通じ、大都市間の輸送を速く大量に行うことが使命である「のぞみ」を静岡駅に停車させることをJRは想定していないこと、「のぞみ」重視のダイヤ編成の中で「ひかり」の増車ができないことなどを課題として認識している。

これらの課題を改めて検証したうえで、周辺市町や経済界などと連携を図り、「のぞみ」の停車、「ひかり」の停車増に向け、取り組んでいきたい。

### 「まちは劇場」プロジェクト

**質問** 市長マニフェストに掲げた「まちは劇場」プロジェクトの基本的な考え方を問う。

**答弁** 「まちは劇場」プロジェクトとは、いつも楽しいことが起こる、ワクワクドキドキするまちづくりを目指すものである。

具体的には、大道芸やシズオカカンヌウィーク、ホビー産業などの本市が備えるエンターテインメントの素地を活用し、市内のあちらこちらで、大道芸などのパフォーミングアーツやオープンカフェなどが楽しめる環境を作り、本市への求心力を高め、賑わいを創出しようとするものである。そして、このプロジェクトを継続していくことで、「文化・クリエイティブ産業」の振興につなげていきたい。

### まちみがき戦略推進プランと3次総

**質問** 市長は1期4年間のまちみがきの成果を3次総にどのように反映させたか。

**答弁** 1期目は、本市固有の地域資源をみがきあげ、「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」や「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」の実現に取り組んできた。また、持続可能かつ堅実な財政運営を行うため、静岡版事業仕分けや行財政改革により、財政基盤作りにも努めてきた。

この成果を踏まえ、3次総では「創造する力による都市の発展」「つながる力による暮らしの充実」を掲げ、これまでの取組を発展的に継承していくこととした。

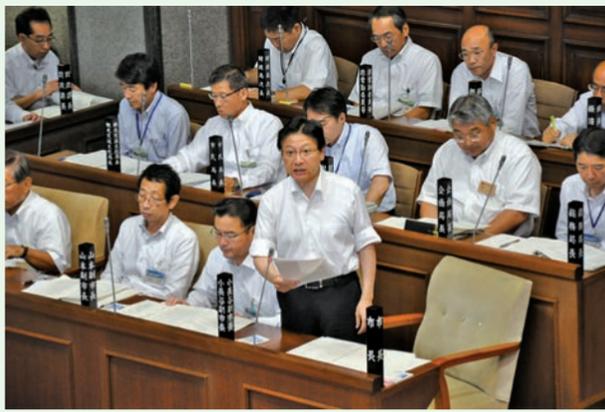
今後は、「2025年に人口70万人の維持」に向けて、積極果敢に地方創生に取り組んでいく。

### 追分・大坪新駅の設置に向けて

**質問** 新駅設置に関する要望が幾度となく提出され、議会でも陳情採択されてきた。このような経緯を踏まえ、新駅設置に優先的に取り組むべきと考えるが、どうか。

**答弁** 公共交通の利用環境の充実には、鉄道とバスを効果的に結び付け、乗り継ぎの利便性を向上させることが重要であり、とりわけ、追分・大坪地区は鉄道駅とバスを結ぶ新たな交通結節点として将来的に有効であると考える。

公共交通利用者が減少しているなか、新駅設置には、バス交通網再編や財源確保などの課題がある。これを解決するために交通事業者との協議を加速させ、これまでの地元要望や議会での陳情採択を「推進力」として早期の事業化を目指していく。



質問に答える田辺市長

### 歴史都市空間への誘導策

**質問** 歴史文化施設への誘導やアプローチ整備の重要性について、市はどう認識しているか。

**答弁** 静岡都心に国内外から多くの人々を集めるためには、歴史文化施設を含む駿府城公園周辺の「歴史文化エリア」と、御幸町や紺屋町周辺などの「商業・業務エリア」が一体となるよう、回遊性を高めることが重要である。

本年度は、この2つのエリアを有機的につなぎ、快適に回遊できる空間の創出を検討する。また、歩いてわくわくするような空間づくりを目指し、現在、社会実験の実施に向けた準備を行っている。

今後、賑わい創出や回遊性向上を進め、国内外から人々が訪れる静岡都心地区の実現に向け、取り組んでいく。



### 興津地域の別荘群の活用

**質問** 興津地域を中心に存在する明治～昭和期の別荘群を、まち歩き観光にどう活用するのか。

**答弁** 歴史上の偉人達が興津地域に別荘を建築し、保養地として過ごした歴史は、本市の魅力ある資源のひとつである。例えば、復元された西園寺公望公の「坐漁荘」は、興津地域の別荘の歴史を今に伝えるものとして、まち歩き観光の拠点となっている。これら歴史資源を活用するためには、魅力的なテーマ設定と物語、その物語を語る観光ガイドが必要である。そのため、本市の歴史資源をみがきあげ、魅力ある物語へと仕立てあげるとともに、地域住民や観光ガイドの皆さんがその物語を語る主人公となるよう、街道観光の舞台としての意識やおもてなしの機運の醸成に努めていく。

### 東日本大震災の被災地支援

**質問** 震災の記憶の風化も懸念されているが、被災地支援について市長の所感を聞きたい。

**答弁** 被災地に対しては、これまでに、延べ893人に及ぶ職員派遣のほか、ガレキの受入れ、本市に避難された被災者の皆さんへの住居の提供など、政令指定都市として最大限の復興支援を行ってきた。

また、現在も、岩手県、山田町、気仙沼市、石巻市に長期の職員派遣を行っている。

現地の復興状況などについて、派遣職員から報告を受けているが、道路、住宅などのインフラ整備は着実に進んでいるものの、全体としては道半ばであると感じている。

そのため、引き続き支援を行っていききたい。

### アセットマネジメントの推進

**質問** アセットマネジメントを統括する公共資産経営課は、施設所管課に対し、どう関わるのか。

**答弁** 施設所管課では、新設する公共建築物等の整備に際し、整備指針やマニュアル等に基づき、機能性や安全性、経済性等を比較検討し、最良の施設整備に取り組んでいる。今後も省エネ機器の導入や計画的な維持修繕等により、ライフサイクルコストの削減と財政負担の軽減を図っていく。

以上を踏まえ、公共資産経営課では、主要な公共建築物の整備に対し、アセットマネジメント基本方針の考え方が適正に反映されているかを企画・設計の段階から確認するとともに、所管課への提案や助言を随時行い、より一層の局間連携を図り、アセットマネジメントの推進に努めていく。

### 歴史都市拠点としての駿府城公園整備

**質問** 駿府城公園で取り組む「桜の名所づくり」と「天守台跡発掘調査」の事業内容を問う。

**答弁** 「桜の名所づくり」では、千本の桜が咲き誇る東海道随一の名所を目指し、園路沿いの桜の回廊や花見ができる広場を整備するとともに、桜を長く楽しめるよう様々な品種を植栽していく。

「天守台跡発掘調査」では、遺構や埋蔵物の調査及び資料等を整理し、天守台のあった時代、位置、構造などを検証する。この結果を踏まえ、天守閣再建を見据えた天守台整備の検討を行う。

市民の憩いの場である駿府城公園が、歴史的な名所の核となり、国内外の人々を受け入れる拠点になるよう、一層のみがきあげを行う。

### 庵原アグリロード構想

**質問** 清水いはらインターチェンジ周辺地域に集中する県営畑地帯総合整備事業実施地区を周回する道路を「アグリロード」として整備し、同地域を交流拠点として1次産業の活性化を図ろうという構想について、市の見解を問う。

**答弁** 今後、中部横断自動車道が開通する清水いはらインターチェンジ周辺地域において、議員が提案する「アグリロード構想」は、大変夢のあるすばらしい構想であると受け止めている。

アグリロードの整備には、農業者のメリットだけでなく、農業との触れ合い体験等による新たな交流の創出など、地域活性化につながる効果も期待できる。そこで、現在実施中の調査の結果を踏まえ、県と連携し、前向きに検討を進めていきたい。

#### 語句説明

##### 静岡式35人学級

2学級以上、かつ1学級の平均人数が35人を超える場合、1学級35人以下(下限25人)の学級を編制することができる静岡県独自の施策。

### 小・中学校の学級編制に関する権限移譲

**質問** 小・中学校の学級編制に関する権限が29年度に移譲された後、どのように学級編制をしていくのか。

**答弁** 現在の学級編制の基準は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に示された標準を参考に、県が定めたものである。本市では、この基準に基づき、国の施策による小学1・2年生の35人学級に加え、小学3年生から中学3年生までは静岡式35人学級として、全学年で少人数学級編制を実施している。

権限移譲後は、本市が学級編制の基準を定めることになるが、少人数学級編制の良さを生かせるよう、学級編制を検討していく。

### 大谷・小鹿地区の工業・物流エリアの開発

**質問** 大谷・小鹿地区の工業・物流エリアの開発をどのようなスケジュールで進めるのか。また、人口減少対策として市外企業の誘致を進めるべきと考えるが、企業立地ニーズは市内企業と市外企業のどちらが高いのか。

**答弁** 大谷・小鹿地区全体の開発に当たっては、土地区画整理事業を前提に検討を進めている。工業・物流エリアについては、開発手法の決定や地権者の合意等を前提に、29年度のスマートインターチェンジ整備後、早期に企業立地が着手されるよう取り組んでいる。

企業立地ニーズは、アンケート調査やヒアリングの結果、市内に新たな拠点の設置や拡大移転を求める市内企業のニーズが高くなっている。

### 全国学力・学習状況調査

**質問** 全国学力・学習状況調査の結果公表について方針を問う。また、同調査は序列化や過度な競争を煽るなどの欠点が指摘されているため、根本的に改善すべきと考えるが、調査を受ける対象を抽出して同調査を実施することについてどう考えるか。

**答弁** これまで同様、市全体では平均正答率及び生活習慣等に関する調査結果を、各学校では実施要領に基づき、保護者や地域の人に自校の結果と改善策を公表する予定である。

調査結果は、各学校において自校の教育指導の充実や学習状況の改善に活用されていることから、教育力の向上や児童生徒の学力の保障になると考え、今後も全校で実施していく。

### こども園と小学校の幼小連携

**質問** 市立こども園と小学校の連携をどのように進めていくのか。

**答弁** 幼児期から学童期にかけては、生きる力の基礎を培う大切な時期であり、この間の教育の連続性を保障するため、こども園と小学校が連携し、子どもの姿や互いの教育を理解し合うことは重要である。このため、こども園と小学校職員の合同研修や、各地域における連携のあり方について意見交換をする場を設けるなど地域の実情に応じた連携の推進を図っていく。

このほか、市内の小学校、こども園、幼稚園、保育園の代表による幼小接続協議会を開催するなど、今後も幼小連携を推進していく。



### 学校給食のあり方

**質問** 学校給食は教育の一環であり、行財政改革には馴染まない。行財政改革推進審議会に諮問した理由を問う。

**答弁** 諮問事項の1つ目として、第3次行財政改革の重要事項であるアセットマネジメントについて諮問し、2つ目として学校給食のあり方について諮問した。本市の学校給食は、提供方法が大きく3つに分かれ、統一されていないことに加え、給食施設の老朽化により今後多額な改修経費が想定されるなど、アセットマネジメント上の課題がある。また、清水区の多くの中学校では、冷たいおかずが提供されている現状があり、食育の面からも課題を抱えている。そこで、アセットマネジメントの観点に立ち、具体的な検討を進める必要があると考え、諮問を行ったものである。

### 教科書採択

**質問** 教育委員会は教科書の採択に関する最終決定権を有するか。また、採択理由や調査結果などを積極的に情報公開すべきと考えるがどうか。

**答弁** 教育委員会の職務権限として「教科書その他の教材の取扱いに関すること」が法律上規定されており、加えて文部科学省からは「公立の学校において使用される教科書の採択権限を有する者は教育委員会である」と通知されている。このことから、最終決定権は教育委員会にあり、教育委員会の責任において教科書を採択していく。

また、情報公開に当たっては、採択事務の円滑な遂行に支障のない範囲で、基本方針、採択に係る経緯、理由その他採択に係る情報について、積極的な公開に努めていく方針である。

### ジビエ料理普及振興策

**質問** 26年度、本市の鳥獣捕獲数のうち、イノシシは1,461頭、ニホンジカは527頭と大変多いと感じている。国をはじめ他の自治体では、捕獲したイノシシ、ニホンジカを食材として有効活用するジビエ料理を普及させ、野生鳥獣対策はもとより、地域活性化に役立てようという動きがある。このことについて、市はどのように考えているか。

**答弁** 捕獲したイノシシ、ニホンジカは、現在、廃棄処分または自家消費がほとんどである。一方、オクシズ地域においては、それを活用したいという団体に対して、施設整備の補助制度がある。

また、捕獲したイノシシやニホンジカのジビエ食材としての可能性については、関係機関と連携して研究していきたい。

### コミュニティ・スクール

**質問** 清水江尻小学校でのコミュニティ・スクールの研究で得た知見と、今後の事業展開を問う。

**答弁** 実践研究により、学校・家庭・地域が一層の連携を図るコミュニティ・スクール制度は、地域とともにある学校づくりを推進するための有効な手立てになることが確認できた。一方、制度の導入に当たっては、それぞれの学校や地域の実情を踏まえ準備や検討を行う必要がある。

今後、清水江尻小学校においては、研究成果をまとめ、有効性と課題を検証した上で、28年度の本格導入に向けた準備を進めていく。

また、新たに実践研究に取り組むモデル校を本年度中に選出するなど、他の学校への導入を積極的に検討していく。

#### 語句説明

##### コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。

### 桜ヶ丘病院の移転用地

**質問** 桜ヶ丘病院を経営する独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）からの新たな移転用地の情報提供を求める要望に対し、どのような姿勢で対応するか。

**答弁** JCHOは桜ヶ丘病院の移転用地について、清水区大内新田の用地には様々な課題があると考え、早急に移転できる観点から再検討することとなった。そこで、本年5月、JCHOから、本市に対し、移転先として最適な用地の情報提供を求める要望があった。

本市では、桜ヶ丘病院を清水区の中核病院のひとつとして位置付けていることから、この要望を重く受け止め、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、さらには、まちづくりの観点も踏まえ、早期に移転新築できるように対応していく。



### 導水路トンネル案への対応

**質問** 中央新幹線建設工事による大井川水量の減少対策としてJR東海が提案した導水路トンネルは、環境大臣意見にある「新たな自然改変」に該当すると考える。市は、JR東海に対し、説明を求めているのか。

**答弁** 導水路トンネルに関しては、トンネル直上部周辺の河川や地下水の流量減少が与える動植物への影響をはじめ、新たな残土発生などの影響に対し、十分な調査、予測、評価が必要であると考えている。

このため、本市では、地盤工学や植物学などの専門家で構成する中央新幹線建設事業に関する有識者会議を設ける予定であり、JR東海には、その場で説明を求めている。

### 地域包括ケアシステム

**質問** 地域包括ケアシステムを構築するに当たっての認識と、とりわけ重要とされる「在宅医療と介護の連携」に関する課題と対応を問う。

**答弁** 在宅医療と介護の連携を図るためには、医療と介護の連携拠点や24時間対応できる体制の整備、医療職と介護職の相互理解などの課題があり、「在宅医療・介護連携協議会」に設置した4部会で課題解決に向けた検討を始める。

医療や介護の面などに大きな地域差がある中で地域包括ケアシステム構築は、「地域の力を問う試金石」である。2025年の超高齢社会に向け、「地域のきずな」が残っているという本市の特徴を生かしたシステムを構築し、「世界に誇れる健康長寿の都市の実現」を目指していく。

#### 語句説明

#### 地域包括ケアシステム

重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できる仕組み。

介護保険の保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じ、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に構築する。

### 清水LNG（液化天然ガス）発電所建設計画

**質問** 今回の計画と同じLNGを燃料とする川崎火力発電所は、年間約550万トンもの二酸化炭素を排出している。大気、温排水を含め、環境への影響をどのように考えているのか。

**答弁** 事業者から提出された計画段階環境配慮書に対し、次の対応を求める意見を表明した。

- ・煙突の高さや構造によっては大気への影響に差が生じ、また、大量の温排水は海域や周辺河川等の水生生物に影響を及ぼすおそれがあるため、より精度の高い適切な調査を行うこと。
  - ・施設の適切な稼働や維持管理により二酸化炭素排出量を削減すること。
- 今後も、環境の保全が図られるよう、事業者に対し適切な配慮を求めている。

## 主な議案

6月定例会で審議された主な議案の概要は次のとおりです。

### 27年度補正予算

#### ○平成27年度静岡市一般会計補正予算（第2号）

3次総の更なる推進に向けた広域連携と交流人口の拡大として、中部5市2町による広域連携モデル事業などに要する経費のほか、官民連携による市民サービスの向上として、証明書コンビニ交付サービスの導入などに要する経費や安全・安心なまちづくりに要する経費などの増額を計上しました。

この結果、補正予算の総額は、22.6億円の増額となり、補正額を加えた累計予算額は、2,848.7億円となります。

### 税制改正

#### ○静岡市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税に係る住宅ローン減税措置の対象期間の延長、軽自動車税の軽減に関する規定の新設及び市たばこ税の特例税率の縮減等について、所要の改正をしようとするものです。

### マイナンバー対応

#### ○静岡市個人情報保護条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の取扱い等について、所要の改正をしようとするものです。

#### ○静岡市手数料条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行等に伴い、証明関係等手数料の区分等について、所要の改正をしようとするものです。

### 清水病院

#### ○静岡市病院事業等の設置に関する条例の一部改正について

清水病院において、集中治療室や地域包括ケア病棟の設置などの病棟再編に伴い、病床数を変更するため、所要の改正をしようとするものです。

#### ○静岡市立清水病院医学生修学資金貸与条例の一部改正について

静岡市立清水病院医学生修学資金の貸与の対象条件を変更するため、所要の改正をしようとするものです。

### 女性議員が活躍できる環境の整備

#### ○静岡市議会会議規則の一部改正

#### ○静岡市議会委員会条例の一部改正

静岡市議会では、女性議員が子どもを産みやすい環境を整備し、男女共同参画を促進する必要があるとして、「疾病、出産その他の理由により一定期間欠席するときは、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる」という規定を新たに加え、女性議員が出産により会議を欠席できる旨を明示しました。



他の議案を含め詳細は、各市立図書館、各区役所市政情報コーナーにある議案書等をご覧ください。

# 常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

## 総務委員会

- \***社会保障・税番号(マイナンバー)制度**について、徹底した安全管理を行うとともに、専門的な能力を有する人材の採用も検討すること。マイナンバー制度に係る情報を扱う職員の管理マニュアルの作成を求める。
- \*静岡県中部5市2町による連携中枢都市圏の調査・検討を行う**広域連携推進モデル事業**の成果をあげ、さらなる展開につなげるとともに、県との連携も進め、中部地域の存在感を示すこと。
- \*市災害対策本部と区災害対策本部とをつなぐ情報配信システムを構築する**防災対策推進事業**とおし、情報を的確にとらえ、災害時にはこれを最大限に活用できる体制を整備すること。
- \*市内全域で起こり得る土砂災害や集中豪雨などに備えられるよう、**緊急情報防災ラジオ**の活用など情報伝達を必要としている市民の要望に応えていくこと。

## 市民環境教育委員会

- \*災害時の帰宅困難者の受け入れを想定した**小・中学校への太陽光発電設備等の設置**について、帰宅困難者の受け入れに当たっては、収容人数を想定するとともに、関係部局間で十分に調整すること。また、子供たちの安全と学びの場の確保にも配慮すること。
- \***北部学校給食センター整備事業**に当たっては、児童生徒の健康と安心安全を確保するため、慎重に実施すること。
- \***証明書のコンビニ交付サービス**については、地域振興の面から、コンビニ以外の商店でも実施できるよう検討すること。また、このサービスを有効活用し、証明書交付に要する全体のコスト削減にも努めること。

## 企業消防委員会

- \*医師確保が困難な中、**清水病院医学生修学資金貸与事業**は、効果的で積極的な取組であると評価する。制度のPRを進め、充実した医師確保体制の構築を図ること。
- \***清水病院病棟再編に伴う病床数変更**に関連して、同病院は地域の基幹病院として、地域の皆さんに安心をもたらす医療体制の整備が重要であり、医師や看護師等の人材確保に加え、地域のニーズに則した施設・設備の充実に努めること。
- \*消防には火災のみならず自然災害への対応も求められるため、今後も様々な状況を想定して**常備消防装備の強化**に当たること。
- \***はしご付消防ポンプ自動車の購入**について、大震災などへの災害派遣等での活用も考えられるため、広域的観点も含め、今後とも装備の充実に努めること。

## 観光文化経済委員会

- \***官民連携インバウンド誘致推進事業**について、台湾からの個人旅行者向け旅行商品の開発や、オール静岡で外国人誘客を目指す推進会議の開催を力強く進めるとともに、静岡市に気持ちよく来てもらえるよう、言語表示や通訳の充実などにも力を入れ、受入体制の整備もすること。
- \***まるちゃんのまちPR事業**について、アニメに登場する市内のポイントをアピールすることにより、継続したまるちゃんのまちづくりに努めること。
- \***(仮称)三保松原ビジターセンター建設事業**に併せ、関連する事業を着実に推進すること。
- \***富厚里地区の農業集落排水処理施設の供用開始**にあたり、下流地域の住民にも丁寧な説明をすること。

## 都市建設委員会

- \***JR安倍川駅、草薙駅の各周辺整備事業**については、現場は、人や電車が常に行きかうところであるので、事故のないよう安全かつ円滑な整備をすること。
- \***日本平公園整備事業**は、観光客の誘致、MICEの推進につながる重要なものであるため、魅力ある公園として早期に整備すること。
- \***道路自然災害防除事業**について、災害の発生を未然に防ぐことが重要であるので、定期的な点検、調査の実施と危険個所の改修にも努めること。また、中山間地では道路が寸断されると孤立してしまう地域もあるので、災害等の対応は速やかに行うこと。
- \***(仮称)東名静岡東スマートインターチェンジの整備**については、広く市民や周辺事業者による事業の進捗や全体スケジュールの周知を行うこと。また、工事に際しては、小中学校の通学路に近接していることから、ガードレールの設置、車道と歩道の分離など、事故を起こさないような予防的対策など安全対策にも十分配慮すること。

## 厚生委員会

- \***病院事業出資金**について、医師不足の解消に向けてしっかりと進めること。また、修学資金に加え、長く静岡市に勤務したいと思えるような環境づくりにも配慮し、優秀な医師の確保に努めること。
- \*高齢者が自立した日常生活を送ることができるよう支援する**地域支援事業**について、平成29年4月の新制度の開始に向け、事業者に対する決定事項等の迅速な周知も含め着実な準備をすること。

# 陳情審査結果

4件の陳情が審査され、審査結果は次のとおりでした。

件名	結果
共通番号制度の準備作業停止を求める陳情書	不採択
三保松原の保全維持管理に関する陳情書	採択
「ドン・キホーテ」山崎出店に関し「アダルトショップコーナー」中止、営業は夜10時までとする陳情書	不採択
旧駿府城の外堀埋立てに関する陳情	不採択

## 姉妹都市・シェルビービル市の 中高生が傍聴にいらっしました



6月23日、姉妹都市であるアメリカ合衆国インディアナ州シェルビービル市の中高生が、6月定例会の本会議を傍聴されました。

登壇した議員がシェルビービル市の皆さんを紹介するサプライズもあり、皆さんにも思わず笑顔がこぼれていました。

## 産業振興策調査特別委員会が 提言書を提出しました

本市における都市力・成長力の一層の強化を目指し、「国の地方創生に呼応した、国家的機関・民間本社機能等の誘致」「産業振興に係る全市的・全庁的な推進体制の整備」「中小零細事業者の収益力向上に向けた戦略的な施策展開」「大規模社会資本・国際イベントの有効利活用の推進」の4項目の提言をまとめ、4月21日に市長に提出しました。



# 6月定例会提出議案の会派別賛否一覧

6月定例会で審議した市長提出議案21件、議員提出議案4件の審議結果は、次のとおりです。  
(○=賛成、×=反対)

件名	会派名							議決結果	
	自民党	新政会	公明党	共産党	静新	山と町	緑の党		
27年度補正予算	平成27年度静岡市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	○	×	可決
	平成27年度静岡市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	静岡市情報公開条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	×	可決
	静岡市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市手数料条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	×	可決
	静岡市高齢者生活福祉センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市老人デイサービスセンター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	可決
	静岡市立清水病院医学生修学資金貸与条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決	
その他の議案	緊急情報防災ラジオの購入について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	はしご付消防ポンプ自動車の購入について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の締結について((主)清水富士宮線(仮称)伊佐布ランプ橋上部工工事)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	工事委託契約の締結について((仮称)東名静岡東インターチェンジ整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	工事請負契約の変更について((主)清水富士宮線(仮称)伊佐布高架橋(庵原川右岸)下部工工事)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について(池田24号線ほか6路線)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	字の新設及び区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	賛成
議員提出案	静岡市議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
	マイナンバー制度に関する意見書	×	×	×	×	×	×	○	否決
	「平和安全法制」に関する意見書	×	×	×	×	×	×	○	否決

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(20人)、新政会(8人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、静新(4人)、山と町=山と町静岡市議会議員団(2人)、山と町「山と町」安全の会(1人)、緑の党=緑の党 Greens Japan(1人)

## ホームページのご案内

静岡市議会のホームページでは、議会のしくみをはじめ、議員の紹介、会議録、会議日程や議決結果など、様々な情報を掲載しています。また、本会議当日の議会中継や録画映像の配信も行っています。さらに、今年度から新たに、本会議で審議する議案の内容も公開しました。今後も、わかりやすく利用しやすいホームページづくりに努めていきますので、ぜひ一度ご覧ください。

### 市議会ホームページ



次号「しずおか市議会だより(平成27年9月定例会号)」は平成27年12月1日発行予定です。

## 本会議中継のお知らせ



### インターネット

生中継(LIVE)・録画中継(VOD)をご覧ください。  
[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000269.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html)



### 地域FMラジオ

本会議(総括質問)のダイジェスト版を放送  
エフエムしみず(マリナル)76.3MHz  
シティエフエム静岡(FM-Hi!)76.9MHz

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

### 静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
議会総務課 ☎221-1158  
議事課 ☎221-1159  
調査法制課 ☎221-1481  
(編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレス

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)

静岡市議会

検索

## 次回定例会のお知らせ

9月定例会は、9月14日からはじまります。日程は次のとおりです。

会期37日間

月/日/曜日	会議名	場所
9月 3日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
8日(火)	議案説明会	議 場
14日(月)	本会議	議 場
18日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
30日(水)	本会議(総括質問)	議 場
10月 1日(木)	本会議(総括質問)	議 場
2日(金)	本会議(総括質問)	議 場
6日(火)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
7日(水)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
13日(火)	総務委員会 市民環境教育委員会 企業消防委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
14日(水)	総務委員会 市民環境教育委員会 企業消防委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
19日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
20日(火)	本会議	議 場

※日程は変更になることがあります。(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)  
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

## 議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。6月29日、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の高橋和久参事官を講師に迎え、「地方創生元年を迎えて」と題した講演会を開催しました。



## 表紙の写真

### 「田安門」

萩原 和幸氏(日本写真家協会会員)  
撮影場所 静岡市立高校敷地内(葵区千代田)

江戸幕府崩壊後に静岡藩主となった徳川家達(徳川家康)が、当時の静岡浅間神社神主の屋敷に移住することになったが、その屋敷に立っていた門が、この「田安門」。江戸時代から現在まで、大火や震災の難を逃れ、ほぼそのままの形で受け継がれてきた。今、学び舎で若人を見守る姿、私なりにキッチリと収めてみた。

